

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009001	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	歯学 (D1・D2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	文教キャンパス 言語教育研究センター 1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングの基礎について学習し、内容を把握する練習を行い、その内容に関連するactivityをペアやグループで行い、presentationの練習も行なう。		
授業到達目標/Goal	Reading力とListening力を伸ばすこと。トピックに関連するactivityをグループやペアで行うことにより、能動的に学び、また自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストに従って授業を進めていく。ペアワークやグループワークも行なう。		
授業内容/Class outline/Con	Scanning, Skimming, Identifying topic and main idea, Identifying cause and effectなどの基本的なリーディングスキルを演習するためのアクティビティを行う。Ted Talksを素材とした英文を読み、効果的な内容把握の練習を行う。その後TEDのスピーチを聞くことにより、興味深いトピックをオーセンティックな英語で読解すると共にスピーチを聞くことにより、自然な英語に慣れる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業外でもTEDビデオサイトへ入って、ビデオを何度も視聴すること。授業後の復習を行なうこと。		
キーワード/Key word	リーディングスキル, Logical Reasoning, TED Talk		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	21st Century Reading by Robin Longshaw & Laurie Blass, CENGAGE Learning		
成績評価の方法・基準等/Evaluation			
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業参加態度・project積極的参加度・出席: 20% E-learning小テスト: 20%, TOEIC IP: 20%, Presentation: 5%, Report 5%, 期末テスト: 30% (注意) 5回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。欠席1回-3点、遅刻1回-1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://ngl.cengage.com/21centuryreading/resources/student/book-1 (Videoサイト)		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	Orientation, Unit 1 Life Changes		
2	Unit 1. Life Changes		
3	Unit 1. Life Changes		
4	Unit 2. Team Power		
5	Unit 2. Team Power		
6	Unit 3 Ocean Wonders E-learning 小テスト1回目		
7	Unit 3 Ocean Wonders		

8	Unit 4 What We Wear
9	Unit 4 What We Wear
10	Unit 5 Moments and Memories
11	Unit 5 Moments and Memories / Show + FeedbackのためのphotoをLacsへ送る
12	Unit 5 Presentation (Show + Feedback) /Unit 6 Building Solutions E-learning 小テスト2回目
13	Unit 6 Building Solutions
14	Unit 6 Building Solutions /Report (p.91) について説明 (TEDを観る) : HW7/25 まで
15	復習
16	Term Examination : Vocabulary と内容理解

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009002	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (14:20 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のTOEIC -IP20%、e-Learning小テスト20% (3 Step、Power Words) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』一分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト（1回目）、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト（2回目）、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a Taxi、洋楽を利用したリスニング洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009003	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部 (E 2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning 授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning 授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning 授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning 授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning 授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、e-learning小テスト1回目 授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning 授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning 授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning 授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning 授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning 授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト2回目 授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning 授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning 授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning 授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、TOEIC - IP 20%、e-learning小テスト 20%、授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009004	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。パートナー(グループ)で疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題点・感想を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。英語を読み、聞き、声に出し、書き、それぞれの能力を総合的に伸ばす訓練をする。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回オリエンテーション。第2回~6回文の種類・品詞を再確認しながら内容を理解し、聞き取りづらい音(音の変化、数字など)を意識してリスニングをします。第7回~10回キーワードに着目して内容を理解し、挨拶・勧誘文・依頼文を聞き取って答える練習をします。第11回~13回テーマを意識して読み、内容を理解して音声をまねる練習をします。第14回目文化・健康・就職活動など授業で取り上げたテーマの中からペアで選んだ内容について、会話発表してもらいます。第15回まとめ。第16回定期試験。6回目と12回目にe-learning小テストを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森田彰, 飯尾牧子, 橋本健広, 佐竹幸信, 角田麻里, Taron Plaza 『総合英語のターゲット演習【中級】』(金星堂, 2017年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning20%、TOEIC-IP20%(60点以上合格)		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009005	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部1年生(E7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midwinter.jk@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの音声理解、意味理解、構造理解、読解能力を発展させつつ新たな枠組みで捉え直し、ボトムアップとトップダウンの両方のアプローチによって、英文情報を緻密に、及び効率的に理解できるようになることを目指す授業です。また、現在の日本社会で起きていることを知り、今後どのような社会を築いていくべきかを考え、それを文章化することもおこないます。		
授業到達目標/Goal	基本的なアカデミック・ポキャブラリーを文脈に応じて自由に使えるようにする、 基本的なリーディング・ストラテジーを習得する、 音声を伴うスラッシュ・リーディングをおこない、wpmを向上させることによって、より短時間で効率よく英文を読めるようになる、 一以上の3つを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回の予習と復習の確認作業(小テストを含む)を通して、演習形式でおこないます。		
授業内容/Class outline/Con	読解用の英文をもとにして、語彙、内容把握、リスニング、課題作文をおこないます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ポキャブラリーの予習(毎回) 2 Unitsごとの復習テスト(2回に1回)		
キーワード/Key word	スラッシュ・リーディング 英検・TOEFL対策		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Paul Stapleton / Atsuko Uemura, Portraits of Japan: Voicing Opinions on a Chanigning Society (Cengage Learning, 2017)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC IP: 20% E-Learning: 20% 定期試験: 20% Unit Review Tests: 20% その他: 20%(各ユニットの予習ポキャブラリークイズ、及び英文エッセイ2~3回)		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席し、すべての小テストを受けることを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	音声ファイルダウンロードサイト http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkill		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の英文パッセージは現代日本社会に関するものです。全然知らないことが書かれているわけではないので、「絶対理解できるはずだ!」という自信をもって予習してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
April 10	Pre-Unit People in the Book / Reading Skills		
April 17	Unit 1 Japanese Cultural Invasion My Opinion Note 97-98 Vocabulary Preview Quiz Unit 1		
April 24	Unit 2 Emoji: From Japan to the World My Opinion Note 99-100 Vocabulary Preview Quiz Unit 2		

May 1	Unit 3 Tokyo 2020: Chance for a New Beginning Vocabulary Preview Quiz Unit 3 Units 1-2 Review Test
May 8	Unit 4 Pet Obsession My Opinion Notes 101-104 Vocabulary Preview Quiz Unit 4
May 15	Unit 5 Silver Japan Vocabulary Preview Quiz Unit 5 Units 3-4 Review Test
May 22	Unit 6 Changing Gender Roles My Opinion Notes 105-108 Vocabulary Preview Quiz Unit 6 e-Learning 小テスト1回目 (成績評価の10%)
May 29	Unit 7 Maternity Harassment Vocabulary Preview Quiz Unit 7 Units 5-6 Review Test
June 5	Unit 8 Digital Youth: The Connected Generation My Opinion Notes 109-112 Vocabulary Preview Quiz Unit 8
June 12	Unit 9 Japan's Peaceful Poor Vocabulary Preview Quiz Unit 9 Units 7-8 Review Test
June 19	Unit 10 The Idol-Making Machine My Opinion Notes 113-116 Vocabulary Preview Quiz Unit 10
June 26	Unit 11 Japanese Hospitality: Second to None Vocabulary Preview Quiz Unit 11 Units 9-10 Review Test
July 3	Unit 12 Shrinking Cities: Returning the Countryside to Nature My Opinion Notes 117-120 Vocabulary Preview Quiz Unit 12 e-Learning 小テスト2回目 (成績評価の10%)
July 10	Unit 13 Student Power: The New Youth Movement Vocabulary Preview Quiz Unit 13 Units 11-12 Review Test
July 24	Unit 14 Japan in Space: Leaping to New Frontiers My Opinion Notes 121-124 Vocabulary Preview Quiz Unit 14
July 31	Units 13-14 Review Test 定期試験 (My Opinion Notes 97-124の中から2つ選択) (成績評価の20%)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009006	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
授業方法 (学習指導法) /Method	主にペア・グループ活動を行います。授業毎にペアを替え、多くのクラスメイトと英語でのコミュニケーションを体験してもらいます。また、プレゼンテーションを通し人前で話すことを経験し他の人と共に活動する大変さ、重要さ、楽しさを感じてもらいたいと思っています。		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やします。また、音読の練習を行い発音の練習も行います。 Speakingの時間は基本となる文法を復習しながら主にその文法を用いてSpeakingの練習をします。またランダムにトピックを出し、英会話の練習をします。 Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行います。事前に原稿を作成しますので、ライティングの練習と捉え、一人およそ1分ぐらいの量の英作文を作ります。 16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みしましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (10回実施) 10% / プレゼンテーショングループ評価 20% / 定期試験 20% / レポート提出 10% / TOEIC-IP: 20% / e-learning 小テスト 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるようにこの授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 4/10	オリエンテーション/ Speaking activity Group activity (グループ作成 + プレゼンテーマ決め)		

第2回 4/17	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第3回 4/24	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第4回 5/1	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第5回 5/8	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (英文完成)
第6回 5/15	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (proofread)
第7回 5/22	e-learning 小テスト1回目 / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第8回 5/29	第1回 プレゼンテーション
第9回 6/5	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン内容決め)
第10回 6/12	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第11回 6/19	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第12回 6/26	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (英文完成)
第13回 7/3	e-learning 小テスト2回目 / Speaking activity Group activity (proofread)
第14回 7/10	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第15回 7/24	第2回 プレゼンテーション
第16回 7/31	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009007	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後。それ以外はメールで連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の力を総合的に伸ばす授業です。現在の日本の企業がどのように国際展開をしているか書かれている記事を読んだり、リスニングで情報を得た上で、その情報に関して他の人にわかりやすく伝える方法や自分の意見を英語で表現する。		
授業到達目標/Goal	現代社会に関わる内容に関して記事を読んだり聞いたりして、情報が正しく取れること。また、取った情報に関して自分の意見を伝えたり、情報を適切に人に伝えることができるようになることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストを中心に、記事を読んだり聞いたりする。さらに、読み取ったことに関して情報をわかりやすく伝えるためのペアやグループ練習を行う。毎回授業の最初に、前回の授業の内容に関する小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con	国際社会で活躍している日本の企業の実際のビジネスケースを通して、国際社会で通用するビジネスについて英語で学ぶ。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習をしておくように。毎回、授業の最初に行う小テストのために授業内容の復習をしておくこと。		
キーワード/Key word	ビジネス、英語 4 技能		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Yasuo Nakatani, Ryan Smithers. Global Leadership (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 10%、e-learning 20%、TOEIC 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Initiating World's Biggest Joint Marketing Project		
第2回	Creating Value and Making a Difference		
第3回	Enhancing Luxury Brand Identity		
第4回	Changing a Big Company with Management of Technology		
第5回	Reviewing a Leading Brand		
第6回	Negotiating with Headquarters		
第7回	Making a Challenging Business Profitable e-learning 小テスト1回目		
第8回	Becoming a Representative Corporate Citizen in China		
第9回	Developing New Business in Emerging Markets		

第10回	De-centralizing Marketing Strategies
第11回	Competing with Big Companies by Establishing a Regional Brand
第12回	Sustaining Brand Identity and Global Business Strategies
第13回	Enhancing Global Brand Communication e-learning 小テスト2回目
第14回	Developing a Global Leader for Diversity Management
第15回	Building Global Business Models

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009008	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	terasan1123 outlook.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel	terasan1123 outlook.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は授業中、授業の前後、若しくはEメールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	既得の英語の知識を整理しながら、自己発信力を持つ実用的な英語への発展を図ります。リーディングにおいては、速読の力をつけるために、返り訳をしないスラッシュリーディングと大意把握の練習を行います。また、シャドーイングを取り入れ、リスニングとスピーキング力の向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	身近な話題について表現することができる。 発音の改善と上達。 実用英文法の理解。 スラッシュリーディングを身につける。 シャドーイングを身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストを中心に授業をすすめます。選択肢の問題においては、回答の際、選択の根拠が必要な時もあります。 発音指導は、クラス全体を対象に適時行います。 会話練習ではペア活動を、ほかのタスク活動ではグループ (4人程度) を多く採用します。スラッシュリーディングとシャドーイングについては、主に個人活動となります。		
授業内容/Class outline/Con	1回目の授業でテキスト販売、成績評価・基準、授業の進み方の説明など、オリエンテーションをします。授業は前時の小テスト (主に語彙・英 日) から始め、1回の授業につき、テキスト1ユニットを目安に行います。関連トピックに関しては、動画や配布プリントなどで理解を深めます。16回目に定期試験を実施します。なお、7回目にe-learning小テスト1回目、13回目にe-learning小テスト2回目を行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、次回ユニット全般の問題を解きます。わからない単語は調べておいてください。また、授業の最初に復習の小テストがありますので、授業中に説明を受けた重要単語については目を通しておきましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English Beams (南雲堂) 初回授業日に販売しますので、購入のこと。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC-IP: 20% e-learning: 20% (3step CALL System, Power Words) 積極的な授業態度: 10% 小テスト: 10% 期末試験: 40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えてください。辞書は必携です。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009009	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp 欠席報告は後日、届けを提出してください。(メールを送信する際はを@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	大学の勉強に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、パターンで覚えるのではなく、その場の状況を判断しながら日本語訳、英語訳に向かう対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。辞書に安易に頼るのではなく、日本語・英語の相違点の認識や文脈に頼りながら解決する読解力もつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要): Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは健康問題について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得します。Listeningにおいては、大学側が提供しているPowerWordsや3stepを日常の取り組みにします。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	脱受験英語、量的学習を質的学習へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Positive Class Attendance and Participation: 15% TOEIC-IP: 20% 課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL・PowerWords) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等)目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が講義回数の1/3に達した時点で、Class Attendance and Participationの評価は0%にいたします。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育をうける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理配慮のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	e-learningテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction シラバスの解説、授業における注意事項、e-learningの解説
第2回	Unit 1 Singapore 's Love Potion Heads to Markets Overseas
第3回	Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings
第4回	Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training
第5回	Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young
第6回	Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows
第7回	Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone 's Taste 5月23日 e-learning 小テスト (30分程度)
第8回	Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer 's Disease
第9回	Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure
第10回	Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise
第11回	Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads
第12回	Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks
第13回	Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 7月4日 e-learning 小テスト (30分程度)
第14回	Unit 13 Woman Listed as World 's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114
第15回	学期末試験に向けて総評 Unit 14
第16回	Final Examination 7月25日 (予定) 予備日 (8月1日)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009010	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 6F 619 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	総合英語 I の英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con	第1回から15回までは、教科書の教材配列に従って、毎回、教科書の1 Unit をカバーして予定です。第16回目に定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、教科書の1 Unit をカバーして予定です。しっかりと予習しておくこと。また、毎回、前時の復習として、英語の重要表現についての小テストを実施する予定です。適宜、授業後に整理をしておいてください。		
キーワード/Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Intermediate Skills for Reading 成美堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(60%)、TOEIC-IP(20%)、e-learning 小テスト(20%)を基準に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の予習にしっかり取り組んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて		
第2回	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea		
第4回	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events		
第5回	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)		
第6回	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル 及び		

第7回	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル e-learning 小テスト実施
第8回	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
第12回	Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2)
第13回	Unit 13 Life Expectations Developeing Reading Fluency (3) e-learning 小テスト実施
第14回	Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4)
第15回	Unit 15 Unmerology---Using Numbers to Predict the Future 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009011	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F パソコン室		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、TOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を適確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストや課題を実施する。 ・配布プリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。 ・授業の最後では、作文の作成やグループ・ペアでの発表を行う。 		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning: 20% TOEFL-ITPスコア: 20% 授業への取り組み、小テスト・課題: 40% 中間・期末課題: 20% 6月実施予定のTOEFL-ITPスコアを20点満点に換算して成績評価に利用する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月12日: オリエンテーション & 準備学習		
第2回	4月19日: 配布資料1		

第3回	4月26日：配布資料2
第4回	5月10日：配布資料3
第5回	5月17日：配布資料4
第6回	5月24日：e-learningテスト (1) & 配布資料5
第7回	5月31日：中間課題
第8回	6月7日：配布資料6
第9回	6月14日：配布資料7
第10回	6月21日：配布資料8
第11回	6月28日：配布資料9
第12回	7月5日：e-learningテスト (2) & 配布資料10
第13回	7月11日：配布資料11
第14回	7月19日：配布資料12
第15回	7月26日：期末課題

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009012	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G2のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。e-learning小テスト: 1回目 5/22-5/26, 2回目 7/3-7/7の授業日に実施 Power Wordsの小テストは、e-learning学習の小テストに組み込まれます。また、TOEFL-ITPが6月17日(土)に実施されます。こちらの得点も20%として評価に組み込まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	第3回 速読(phrase reading)Laughing will save you from going crazy.		

第4回	第4回 速読(phrase reading)と ^o アワーク(2), The French Paradox
第5回	第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.
第6回	第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	第7回 速読(phrase reading)と ^o アワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	第8回 速読(phrase reading)と,Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	第9回 速読(phrase reading)と ^o アワーク(4), Current Issues
第10回	第10回 速読(phrase reading)と ^o アワーク(5),, Chocolate and its magical power.
第11回	第11回 速読(phrase reading)と ^o アワーク(6), Processed Food.
第12回	第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	第13回 速読(phrase reading)と Genetically modified food
第14回	IELTS Writing入門
第15回	第14回 速読(6) まとめ
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009013	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	reading, summary writing, listening		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック(20%), e-learning 小テスト(3Step CALL System, Power Words)(20%), TOEFL-ITP(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		
第3回	Listening 2, プリント教材(2)		
第4回	Listening 3, プリント教材(3)		
第5回	Listening 4, プリント教材(4)		
第6回	プリント教材(5)		
第7回	e-learning小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(6)		
第8回	Listening 6, プリント教材(7)		
第9回	Listening 7, プリント教材(8)		
第10回	Listening 8, プリント教材(9)		
第11回	Listening 9, プリント教材(10)		

第12回	プリント教材(11)
第13回	e-learning小テスト(2), プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009014	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	環境 K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
授業方法 (学習指導法) /Method	主にペア・グループ活動を行います。授業毎にペアを替え、多くのクラスメイトと英語でのコミュニケーションを体験してもらいます。また、プレゼンテーションを通し人前で話すことを経験し他の人と共に活動する大変さ、重要さ、楽しさを感じてもらいたいと思っています。		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やします。また、音読の練習を行い発音の練習も行います。 Speakingの時間は基本となる文法を復習しながら主にその文法を用いてSpeakingの練習をします。またランダムにトピックを出し、英会話の練習をします。 Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行います。事前に原稿を作成しますので、ライティングの練習と捉え、一人およそ1分ぐらいの量の英作文を作ります。 16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (10回実施) 10% / プレゼンテーショングループ評価 20% / 定期試験 20% / レポート提出 10% / TOEIC-IP: 20% / e-learning 小テスト 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 4/7	オリエンテーション / Speaking activity Group activity (グループ作成 + プレゼンターマ決め)		
第2回 4/14	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (アウトライン + 担当決め)		

第3回 4/21	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第4回 4/28	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第5回 5/12	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (英文完成)
第6回 5/19	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (proofread)
第7回 5/26	e-learning 小テスト1回目 / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第8回 6/2	第1回 プレゼンテーション
第9回 6/9	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン内容決め)
第10回 6/16	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第11回 6/23	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第12回 6/30	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (英文完成)
第13回 7/7	e-learning 小テスト2回目 / Speaking activity Group activity (proofread)
第14回 7/14	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第15回 7/21	第2回 プレゼンテーション
第16回 7/28	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009015	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は様々な人生選択をした人たちの生活について触れた英文を読む、読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話文音声を読み、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標/Goal	1. リスニングで何が話題になっているのか大意を掴むことができる。 2. writingの練習を通し、正しい文構造で英文を作ることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	座学で基本文法を確認を含む基盤的知識を学び、その得た知識の定着させるため、確認テストを毎回実施する。		
授業内容/Class outline/Con	各回、前半は、基本文法に触れながら、長文読解をしていく。つづいて、内容の理解度を確認するため、Reading Comprehensionに取り組む。後半に各トピックに関連した会話文音声でリスニングに取り組めます。16回目に定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各課には予備知識としてNotesがついているので、予習の段階で目を通しておくこと。また、翌週に確認テストを行うので、しっかりと復習しておくこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Living in a Global Community (朝日出版社) ¥1,700+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業内の取り組み (10%) + Review Quiz (13回 × 2% = 26%) + 定期試験 (24%) + TOEIC-IP (20%) + e-learning (20%) = 合計100%のうち60%以上を合格		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	The Power of Photography		
3回目	The Power of Photography Review Quiz Disaster Recovery Coordinators		
4回目	Disaster Recovery Coordinators Review Quiz Taking Risks		
5回目	Taking Risks Review Quiz Trying for a Comeback		
6回目	Trying for a Comeback Review Quiz The Ups and Downs in the Restaurant Industry		
7回目	e-learning 小テスト1回目 The Ups and Downs in the Restaurant Industry Review Quiz Niche Market		

8回目	Niche Market Review Quiz Example without Preaching (1)
9回目	Example without Preaching (1) Review Quiz Example without Preaching (2)
10回目	Example without Preaching (2) Review Quiz Mediators
11回目	Mediators Review Quiz Leading a Steady Life
12回目	Leading a Steady Life Review Quiz White Lies?
13回目	e-learning 小テスト2回目 White Lies? Review Quiz Seeking the Blue Bird of Happiness
14回目	Seeking the Blue Bird of Happiness Review Quiz Effective History Education
15回目	Effective History Education Review Quiz Living his Faith
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009016	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	noribei07142007 hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluencyの習得に努める。		
授業到達目標/Goal	" (1) TOEIC400~450程度の読解問題を解くことができる。 (2) 語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げる。 (3) Reading Strategyを使いながら、システマティックに読解力向上を目指す。 "		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークを含めて進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	" (1) English newsの記事を読み取り、Key sentencesを暗唱 (2) 語彙力・表現力の養成 (3) テキストの読解"		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指示された箇所の予習及び、QUIZ (小テスト) の準備を怠らないこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Active Skills for Reading 2 (Third Edition)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC-IP 20% e-learning 小テスト 20% 課題、小テスト、授業参加度 10% 期末テスト 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Active Participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask questions.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて、要件があれば記入してください。		
第2回	Unit 1 Chapter 1 Reading the Passage		
第3回	Unit 1 Chapter 1 Reading the Passage		
第4回	Unit 1 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension		

第5回	Unit 1 Chapter 2 Reading the Passage
第6回	Unit 1 Chapter 2 Reading the Passage
第7回	e-learning 小テスト1回目 Unit 1 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第8回	Unit 2 Chapter 1 Reading the passage Unit 2 Chapter 2 Reading the Passage
第9回	Unit 2 Chapter 2 Reading the Passage
第10回	Unit 2 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	Unit 3 Chapter 1 Reading the Passage
第12回	Unit 3 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
第13回	e-learning 小テスト2回目 Unit 5 Chapter 1 Reading the Passage
第14回	Unit 5 Chapter 1 Reading the Passage
第15回	Unit 5 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension / Review
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009017	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、TOEIC-IP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価する。earning小テスト: 1回目 5/22-5/26, 2回目 7/3-7/7の授業日に実施 Power Wordsの小テストは、e-learning学習の小テストに組み込まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月12日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月19日 第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	4月26日 第3回 速読(phrase reading)とLaughing will save you from going crazy.		
第4回	5月10日 第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox		

第5回	5月17日 3STEP 小テスト1回目 第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.
第6回	5月24日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	5月31日 第7回 速読(phrase reading)と ^ハ アワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	6月7日 第8回 速読(phrase reading)と,Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	6月14日 第9回 速読(phrase reading)と ^ハ アワーク(4), Current Issues
第10回	6月21日 第10回 速読(phrase reading)と ^ハ アワーク(5),, Chocolate and its magical power.
第11回	6月28日 3STEP小テスト2回目 第11回 速読(phrase reading)と ^ハ アワーク(6), Processed Food.
第12回	7月5日 第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	7月12日 第13回 速読(phrase reading)と Genetically modified food
第14回	7月19日 第14回 ELTS Writing入門
第15回	7月26日 速読(6)とsummarizing まとめ
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009018	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	各ユニット400語程度の平易な英文で書かれた、世界中のジャーナリストからの寄稿文より成る Catch the World, Second Edition, Orbiter をテキストに用い、映画、音楽、スポーツ、旅、食物など、様々な文化における話題について読む。15回の授業の初めの5回は精読を中心に、中間の5回は速読を中心に、最後の5回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。 授業の最初は、和文英訳と英単語の予習タイプの小テストを行う。テスト範囲は、毎回前回は指定する。 その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確かめるだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量がある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。ペアであるいは4人のグループで意見や感想を交換する。それを短い英文に書いて提出することもある。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Catch the World--Orbiter, Second Edition, MACMILLAN LANGUAGE HOUSE, CD付, ¥2300+税 第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC- IP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL と Power Words とを内容とする2回の小テスト、各30分程度)、定期試験45%、小テスト約10%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約5%。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシス広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシス広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Living in the 21st Century: Drive My Car
第2回	Unit 2 Anne Hathaway
第3回	Unit 3 Fashion Hotels: Staying with a Brand
第4回	Unit 4 Lady Gaga: Talks This Way
第5回	Unit 5 Land of Fire and Ice--Iceland
第6回	Unit 6 Ryo Ishikawa: Japan's Golf Superstar
第7回	第1回 e-learning 小テスト(30分程度) Unit 7 Business and Social Media
第8回	Unit 8 What Do You Say?--At a Job Interview
第9回	Unit 9 Have a Chaat with the Young People Unit 9 For the Love of Chocolate
第10回	Unit 10 The Beatles: Taking Over the World
第11回	Unit 10 Tom Hanks: A big Man of Hollywood
第12回	Unit 11 The World's Worst Weed
第13回	第2回 e-learning 小テスト(30分程度) Unit 11 Bangkok--More than Meets the Eye
第14回	Unit 12 Singapore Cool
第15回	Unit 12 A Night to Remember
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009019	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部 (L3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning 授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning 授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning 授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning 授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning 授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、e-learning小テスト1回目 授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning 授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning 授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning 授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning 授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning 授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト2回目 授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning 授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning 授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning 授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う、 ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Intermediate, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、TOEIC-IP 20%、e-learning 20% (3step Call System, Power Words), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009020	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	akinatsuhana gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室、水曜日 4 限前 3 0 分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リスニング・スピーキング力を養成する授業です。日本人が苦手とする英語の音声と特徴を学習しながら、段階的に聞き取る量を増やし、リスニング力を強化していきます。発音学習、リスニング練習に加えて、各ユニットのトピックスに則した会話練習をペア・グループで行い、スピーキングに慣れていきます。課題ではTOEIC形式の問題に取り組みます。		
授業到達目標/Goal	英語の音声・特徴、リズムについて理解できるようになる。 教科書のユニットに紹介されている様々なシチュエーションの会話を臆せずにロールプレイすることで英語に慣れ親しみ、教科書の音声リスニングができるようになる。 パートナーとの英語による会話が楽しくなる。 TOEIC形式の問題に慣れる。 日常で使える語彙・表現が身につく。		
授業方法 (学習指導法) /Method	教科書のユニットに則して、(1) 発音学習とリスニング練習をしていきます。連語から文章・会話のリスニングを段階的にしながら、学んだ音や特徴を確認していきます。実際に音読・リピート、シャドウイングそしてディクテーションをすることで理解を深めていき、最後にTOEICのPART3とPART4形式のリスニング問題に取り組みます。 各ユニットの小テストを行うことで確実に学習していきます。 (1) の練習をふまえて、(2) ペア・グループによる会話のロールプレイ練習をします。定期的にクラス内で発表しあいます。効率よく、確実に学習をするために、自宅での予習・復習をしっかり行い、授業ではパートナーとの英語による会話練習や発表に積極的に取り組むことを求めます。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning小テストは第6回目(5/24)、第12回目(7/5)にあります。 第1回は、オリエンテーション{授業説明、自己紹介}、第2回より第15回までは教科書ユニットに即した授業。定期的に発表の時間を設けます。第16回は定期試験。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習はユニットのstep1からstep4の語彙、リスニング・穴埋め問題、ディクテーションに取り組んでおくこと。復習は、授業初めにstep1からstep5の内容確認小テストを行うので、語彙、表現を再度確認し、授業内で学んだ発音学習を踏まえて音読練習をしておくこと。 定期的に行う発表にむけて、日頃より音読に力を入れておくこと。 TOEIC形式の課題を出すので提出日に出すこと。授業だけでなくこの課題を通して、語彙・表現を増やしていくこと。		
キーワード/Key word	リスニング・スピーキング, TOEIC		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	"Listening Steps" by Asuka Yoneyama, Lindsay Wells 出版社: 金星堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning小テスト2回(3step・PowerWords) 20%、TOEIC-IP 20%、定期試験35%、授業への取り組み・発表・課題15%、授業内容確認小テスト10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	基本的に全回出席すること。 授業の予習・復習を欠かさず、授業中は、積極的に英語を声に出して楽しんで下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	Unit 1 Travel 音の連結
第3回	Unit 2 College Life 1 弱形
第4回	Unit 3 Shopping 強形
第5回	Unit 1-Unit 3 まとめ ロールプレイ発表
第6回	e-learning 1回目小テスト
第7回	Unit 4 College Life 2 弱化
第8回	Unit 5 Hotel 弱化 音の脱落
第9回	Unit 6 Train r音化・リズム
第10回	Unit 7 Restaurant 同じ音の連続
第11回	Unit 8 College Life 3 portとsport / イントネーション
第12回	e-learning 2回目小テスト
第13回	Unit 4-8 まとめ ロールプレイ発表
第14回	Unit 9 Leisure 強勢・ストレス / リズム
第15回	Unit 10 Traffic まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009021	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	515		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。		
授業到達目標/Goal	1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・ コール教室で場面に則した音声・映像教材を用いて授業を行う ・ 開講時のリスニング力、終了時のリスニング力を測定する ・ シャドウイングを中心とした学習を行う 		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40%。TOEIC-IP 20%、e-learning小テスト(3step, Power Words) 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、無断欠席、遅刻は厳禁。特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を出すための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。 知識伝達型の授業ではないので、毎回自ら積極的に授業に臨むこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation		
第2回	Listening pre-test		
第3回	Getting Information		
第4回	Checking in a hotel		
第5回	Asking for directions		
第6回	Renting a car e-learning小テスト1回目		
第7回	Shadowing Test 1		

第 8 回	Ordering a meal
第 9 回	Shopping for clothes
第 1 0 回	Asking for a favor
第 1 1 回	Meeting a friend
第 1 2 回	Stress-timed rhythm e-learning小テスト 2 回目
第 1 3 回	Checking out of a hotel
第 1 4 回	Expressing a preference
第 1 5 回	Shadowing Test 2
第 1 6 回	Listening post-test

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009022	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育1年生 L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館617号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に(精読)、早く(速読)読み解くようになる。 (2) 英文中の語句や表現を習得し、英語による表現(英会話・英作文)に応用できる力を身につける。		
授業到達目標/Goal	TOEICの読解力問題で70~80%くらいの正解が得られるような力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method			
授業内容/Class outline/Con	現代イギリス英語の洗練された散文を教材として、読解、聴解の訓練を行う。授業のねらい、授業方法は、上記各欄を参照のこと。受講者全員が指定された箇所をかならず予習して授業に臨むこと。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時には英和辞書・英英辞書を持参すること。		
キーワード/Key word	読解力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Teruya Yoshio (ed.) Past, Dream and Reality. Nan'un-do.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC - IP 20% e-learning小テスト 20% (1) 授業時の発表等 30% (2) 確認テスト (1)~(3) の成績 30% (3) 学生便覧にあるとおり、授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	学生便覧を参照。		
学生へのメッセージ/Message for students	上記「授業のねらい」のとおり。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元 Kazuo Ishiguro, A Family Supper, pp. 1-2.		
第2回	Kazuo ishiguro, pp. 3-7.		
第3回	Kazuo Ishiguro, pp. 8-12.		
第4回	kazuo Ishiguro, pp. 13-15.		
第5回	確認テスト (1) とその解説 教科書を用いたリスニングの訓練 (1)		
第6回	E-Learning小テスト1回目 Graham Greene, The Japanese Invisible Gentleman, pp. 17-21.		
第7回	Graham, greene, pp. 22-23.		

第8回	Muriel Spark, The House of the Famous Poet, pp. 25-29.
第9回	Muriel Spark, pp. 30-34.
第10回	確認テスト (2) とその解説 教科書を用いたリスニングの訓練 (2)
第11回	Muriel Spark, pp. 35-38.
第12回	E-Learning小テスト2回目 Graham Swift, Seraglio, pp. 63-67.
第13回	Graham Swift, pp. 68-72.
第14回	raham Swift, pp. 73-77.
第15回	確認テスト (3) とその解説 教科書を用いたリスニング訓練 (3)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009023	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界中から発信された、最新の健康などに関するニュースを英語で読み、興味深い内容の英文を通して、健康や環境に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作りあげる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業到達目標/Goal	世界の出来事や健康および環境問題に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話したりするための表現したいことを組み立てる基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものにする。発音の改善ができる。基本的な文法を応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対してさらなる意欲を持てるようになる。健康問題に対する自分の意見を持つ。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。予め解答しておいたテキストの問題の解説をし、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、リーディング本来の活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに英語で英文読解を行う。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体のスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。本文の表現を用いて、英作文をする。テキストの問題について、詳細な解説を行う。英文は英字新聞から選ばれていて、内容も興味深く、専門とも関連があるものです。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、テキストの問題を解き、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、e-learningとともに、自宅で予習と復習を必ず行うようにしましょう。自ら学習することが非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英字新聞 / 健康 / 環境 / 英文法 / 英作文		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Picture of Health (小笠原真司: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、TOEIC-IP 20%、e-learning 20%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をして臨みましょう。発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明
第2回 4月19日	Unit 1
第3回 4月26日	Unit 2
第4回 5月10日	Unit 3
第5回 5月17日	Unit 4
第6回 5月24日	Unit 5 【e-learning 小テスト 第1回目】
第7回 5月31日	Unit 6
第8回 6月7日	Unit 7
第9回 6月14日	Unit 8
第10回 6月21日	Unit 9
第11回 6月28日	Unit 10
第12回 7月5日	Unit 11 【e-learning 小テスト 第2回目】
第13回 7月12日	Unit 12
第14回 7月19日	Unit 13
第15回 7月26日	Unit 14
第16回 8月2日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009024	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のTOEIC-IP20%、e-Learning小テスト20%(3 Step、Power Words)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a Taxi、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009025	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学 (M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	文教キャンパス 言語教育研究センター 1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングの基礎について学習し、内容を把握する練習を行い、その内容に関連するactivityをペアやグループで行い、presentationの練習も行なう。		
授業到達目標/Goal	Reading力とListening力を伸ばすこと。トピックに関連するactivityをグループやペアで行うことにより、能動的に学び、また自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストに従って授業を進めていく。ペアワークやグループワークも行なう。		
授業内容/Class outline/Con	Scanning, Skimming, Identifying topic and main idea, Identifying cause and effectなどの基本的なリーディングスキルを演習するためのアクティビティを行う。Ted Talksを素材とした英文を読み、効果的な内容把握の練習を行う。その後TEDのスピーチを聞くことにより、興味深いトピックをオーセンティックな英語で読解すると共にスピーチを聞くことにより、自然な英語に慣れる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業外でもTEDビデオサイトへ入って、ビデオを何度も視聴すること。授業後の復習を行なうこと。		
キーワード/Key word	リーディングスキル, Logical Reasoning, TED Talk		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	21st Century Reading by Robin Longshaw & Laurie Blass, CENGAGE Learning		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加態度・project積極的参加度・出席: 20% E-learning 小テスト: 20%, TOEIC IP: 20%, Presentation: 5%, Report 5%, 期末テスト: 30% (注意) 5回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。欠席1回-3点、遅刻1回-1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://ngl.cengage.com/21centuryreading/resources/student/book-1 (Videoサイト)		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	Orientation, Unit 1 Life Changes		
2	Unit 1. Life Changes		
3	Unit 1. Life Changes		
4	Unit 2. Team Power		
5	Unit 2. Team Power		
6	Unit 3 Ocean Wonders / E-learning 小テスト1回目		
7	Unit 3 Ocean Wonders		

8	Unit 4 What We Wear
9	Unit 4 What We Wear
10	Unit 5 Moments and Memories
11	Unit 5 Moments and Memories / Show + FeedbackのためのphotoをLacsへ送る
12	Unit 5 Presentation (Show + Feedback) /Unit 6 Building Solutions E-learning 小テスト2回目
13	Unit 6 Building Solutions
14	Unit 6 Building Solutions /Report (p.91) について説明 (TEDを観る) : HW7/25 まで
15	復習
16	Term Examination : Vocabulary と内容理解

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009026	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC-IP(20%), e-Learning 小テスト(3Step CALL System, Power Words)(20%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	e-learning小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit12		
第7回	Listening 5, テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		

第12回	e-learning小テスト(2), テキストUnit6
第13回	Listening 10, テキストUnit7
第14回	Listening 11, テキストUnit8
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009027	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	515		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。		
授業到達目標/Goal	1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・ コール教室で場面に則した音声・映像教材を用いて授業を行う ・ 開講時のリスニング力、終了時のリスニング力を測定する ・ シャドウイングを中心とした学習を行う 		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40%。TOEIC-IP 20%、e-learning小テスト(3step, Power Words) 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、無断欠席、遅刻は厳禁。特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を出すための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。 知識伝達型の授業ではないので、毎回自ら積極的に授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation		
第2回	Listening pre-test		
第3回	Getting Information		
第4回	Checking in a hotel		
第5回	Asking for directions		
第6回	Renting a car e-learning小テスト1回目		
第7回	Shadowing Test 1		

第 8 回	Ordering a meal
第 9 回	Shopping for clothes
第 1 0 回	Asking for a favor
第 1 1 回	Meeting a friend
第 1 2 回	Stress-timed rhythm e-learning小テスト 2 回目
第 1 3 回	Checking out of a hotel
第 1 4 回	Expressing a preference
第 1 5 回	Shadowing Test 2
第 1 6 回	Listening post-test

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009028	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部 (M6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning 授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning 授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning 授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning 授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning、スピーチ 授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、スピーチ、e-learning小テスト1回目 授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning 授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning 授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning 授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning、スピーチ 授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning、スピーチ 授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト2回目 授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning 授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning、プレゼンテーション 授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning、プレゼンテーション 授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う、ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、TOEIC - IP 20%、e-learning小テスト 20%、授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009029	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、それ以外はメールで連絡してください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本語と対訳で英語の単語を覚えるのではなく、英語のコアの意味をイメージし、英語の表現の幅を広げる。リスニングに関しては、音の変化に気づき、英語らしいリズムで音読できるように練習することで、リスニング力の向上を目指す。健康に関する記事を読み内容を人にわかりやすく伝える力をつける。		
授業到達目標/Goal	英語のコアのイメージをつかみ、英語の表現力の幅を広げる。それにより、英語での発信力を向上させることを目標とする。リスニングに関しては、英語の音変化を知り、自然な英語が聞き取れるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	毎回表現の小テストを行う。テキストは事前に予習をしてくるように。授業内ではテキストの他に、新聞記事を読ませる。		
授業内容/Class outline/Con	健康に関わる記事に関するリスニングやリーディングを行い、内容を要約してわかりやすく人に伝える練習を行う。健康に関わる新聞記事をその場で速読し、内容を把握する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	動詞のコアのイメージを掴むための表現の小テストを毎回行うので、その勉強を事前しておくこと。		
キーワード/Key word	Listening, Writing, Reading, Speaking, Health		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	西原俊明他 『Better Health for Every Day』 (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト10%、課外学習e-learning 20%、TOEIC 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 Fuel Your Body and Mind		
第2回	Unit 1 の表現テスト Unit 2 What Helps Keep a Doctor Away?		
第3回	Unit 2 の表現テスト Unit 3 Laughing Will Save You from Going Crazy		
第4回	Unit 3 の表現テスト Unit 4 The French Paradox		

第5回	Unit 4 の表現テスト Unit 5 American's Interest in Sushi
第6回	Unit 5 の表現テスト Unit 6 Don't Stay Away from Natto
第7回	中間テスト Unit 7 Acute Alcohol Intoxication Can Kill You e-learning 小テスト1回目
第8回	Unit 7 の表現テスト Unit 8 Is Snoring A Bad Sign?
第9回	Unit 8 の表現テスト Unit 9 Getting A Good Night's Sleep is a Challenge
第10回	Unit 9 の表現テスト Unit 10 Chocolate and its Magical Power
第11回	Unit 10 の表現テスト Unit 11 The Health Risks of Eating Processed Food
第12回	Unit 11 の表現テスト Unit 12 Is Genetically Modified Food Safe Enough?
第13回	Unit 12 の表現テスト Unit 13 Environmental Health Threats e-learning 小テスト2回目
第14回	Unit 13 の表現テスト Newspaper Articles
第15回	News paper Articles
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009030	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(P2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル5の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : The World We Live In (英宝社) 1,800円 教材 : プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、TOEIC 20%、e-learning 20%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーステップ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 5 Unit.1-5 3 Step New York Live
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 5 Unit.6-10 3 Step New York Live
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) e-learning Power Words Level 5 テスト 3 Step New York Live
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 5 Unit.11-15 3 Step New York Live
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 5 Unit.16-20 3 Step New York Live
第6回	教科書 Unit 6. e-learning Power Words Level 5 小テスト Business English Obesity (1) 3 Step New York Live
第7回	Business English Obesity (2) e-learning Power Words Level 5 Unit.21-25 e-learning テスト1 回目
第8回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 5 Unit.26-30 3 Step New York Live
第9回	教科書 Unit 8 Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 5小テスト 3 Step New York Live
第10回	教科書 Unit 9. e-learning Power Words Level 5 Unit.31-35 3 Step New York Live
第11回	教科書 Unit 10 Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 5 Unit.36-40 New York Live
第12回	教科書 Unit 11. Business English Good Posture (1) New York Live
第13回	e-learning テスト2 回目 Business English Good Posture (2) e-learning Power Words Level 5 Unit.41-45
第14回	教科書 Unit 12. Business English Good Posture (3)(4) e-learning Power Words Level 5 Unit.46-50
第15回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 5 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009031	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のTOEIC-IP20%、e-Learning小テスト20%(3 Step、Power Words)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a taxi、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009032	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学(T10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)世界からの多種多様なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる		
授業到達目標/Goal	様々なジャンルの英語を学び、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con	ペアワーク又はグループワークにより練習問題での内容把握、和訳、英作文会話練習を行う。TOEIC形式の文法、リスニング問題を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	4技能総合的な演習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Pass 2		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%)、TOEIC-IP 20%, e-learning小テスト(3step・Power Words) 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	Reading Pass 2: Unit 1 (Millennials)		
第3回	Reading Pass 2: Unit 2 (Green Profits)		
第4回	Reading Pass 2: Unit 3 (Well-Loved Pets)		
第5回	Reading Pass 2: Unit 5 (Viral Marketing)		
第6回	e-learning 小テスト1回目 Reading Pass 2: Unit 7 (The Gossip Media)		
第7回	Reading Pass 2: Unit 9 (Adventure Tourism)		
第8回	Reading Pass 2: Unit 10 (The Cannes Film Festival)		
第9回	Reading Pass 2: Unit 11 (Giving Away Billions)		
第10回	Reading Pass 2: Unit 12 (Computer Actors)		

第11回	Reading Pass 2: Unit 13 (New York City)
第12回	e-learning 小テスト2回目 Reading Pass 2: Unit 15 (Exporting Culture)
第13回	Reading Pass 2: Unit 17 (The Power of YouTube)
第14回	Reading Pass 2: Unit 19 (Yoga)
第15回	Reading Pass 2: Unit 20 (Crime-Fighting Scientists)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009033	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキャニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキャニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart PLUS 『楽しく読もう! 総合英語演習 2』 (安浪誠祐 / Richard S. Lavin : センジャーラーニング株式会社) 音声はダウンロード形式です。http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、TOEIC-IP 20%、e-learning 小テスト 20%、小テスト10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【e-learningの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして、音声聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明
第2回 4月19日	Unit 1
第3回 4月26日	Unit 2
第4回 5月10日	Unit 3
第5回 5月17日	Unit 4
第6回 5月24日	Unit 5 【第1回 e-learning 小テスト】
第7回 5月31日	Unit 6
第8回 6月7日	Unit 7
第9回 6月14日	Unit 8
第10回 6月21日	Unit 9
第11回 6月28日	Unit 11
第12回 7月5日	Unit 12 【第2回 e-learning 小テスト】
第13回 7月12日	Unit 13
第14回 7月19日	Unit 14
第15回 7月26日	Unit 15
第16回 8月2日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009034	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(T3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学工学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル6の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): The Picture of Health(南雲堂) 1,700円 教材: プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、TOEIC 20%、e-learning 20%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 3 Unit.1-5 3 Step First Listening
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 3 Unit.6-10 3 Step First Listening
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) e-learning Power Words Level 3 テスト 3 Step First Listening
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.11-15 3 Step First Listening
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 3 Unit.16-20 3 Step First Listening
第6回	e-learning 小テスト 第1回目 Business English Obesity (1) 3 Step First Listening e-learning Power Words Level 6 小テスト Unit.21-25
第7回	Business English Obesity (2) 教科書 Unit 6.
第8回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 3 Unit.26-30 3 Step First Listening
第9回	教科書 Unit 8. Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 3 小テスト 3 Step First Listening
第10回	教科書 Unit 9. Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 3 Unit.31-35 3 Step First Listening
第11回	教科書 Unit 10 e-learning Power Words Level 3 Unit.36-40 3 Step First Listening
第12回	e-learning 小テスト 第2 回目 Business English Good Posture (1) Business English Obesity (1) 3 Step First Listening e-learning Power Words Level 3 小テスト
第13回	教科書 Unit 11. Business English Good Posture (2) e-learning Power Words Level 3テスト Unit.41-45
第14回	教科書 Unit 12. Business English Good Posture (3)(4) e-learning Power Words Level 3 Unit.46-50

第15回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 3 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009035	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。</p> <p>「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウンの読解方法の実践指導を行う。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。</p> <p>TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的な努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラビッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやらしてもらう。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>1回目 オリエンテーション：授業の眼目説明と授業展開のシュミレーション</p> <p>2回目 Experts say economy class can kill</p> <p>3回目 The added cost of convenience</p> <p>4回目 Human pheromones</p> <p>5回目 Do you really know the risks of smoking?</p> <p>6回目 Cleanliness obsession unhealthy</p> <p>7回目 e-learning 小テスト1回目</p> <p>8回目 Rediscovering nature's healing powers</p> <p>9回目 Who needs meat?</p> <p>10回目 Laughter prescription for good health</p> <p>11回目 Ever-growing life span</p> <p>12回目 Keeping regular hours can prevent "akibate"</p> <p>13回目 e-learning 小テスト2回目</p> <p>14回目 Towers suffer wave of protest over health risks</p> <p>15回目 まとめ</p> <p>16回目 定期試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の前に1ユニット分の予習は必ずさせてから授業に臨むこと。		
キーワード/Key word	Practice of "critical reading"		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A. Mukumoto et al., Curing the Future: Current Topics of Health, 成美堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末筆記試験(60%), TOEIC-IP(20%)とE-Learning 小テスト(20%)など教養教育(英語)の規則に従って、評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） Unit 1 : Impact Craters 地球の成り立ちを考える
第2回	第2回： Unit 2 : Tides 潮の満ち引き現象を考える
第3回	第3回： Unit 3 : The Great Pacific Garbage Patch 大洋のプラスチック塵の対流を考える
第4回	第4回： Unit 4 : Colors in the Sky 空の色の変化を考える
第5回	第5回： Unit 5 : Climate Modeling 気候変動を考える
第6回	第6回：3step 小テスト（1回目） Unit 6 : Dark Matter and Dark Energy 宇宙の謎を考える
第7回	第7回： Unit 7 : Natural Selection 生物の進化を考える
第8回	第8回： Unit 8 : Rockets 多段式ロケットの原理を考える
第9回	第9回： Unit 9 : The Hazards of Space Travel 宇宙旅行の危険性を考える
第10回	第10回： Unit 10 : The Cassini-Huygens Mission 土星探査を考える
第11回	第11回： Unit 11 : Space Junk 宇宙塵について考える
第12回	第12回： Unit 12 : Saving the Kakapo 絶滅危惧種の救済を考える
第13回	第13回： Unit 13 : The Birth of Genetics 遺伝子の利用について考える
第14回	第14回： Unit 14 : Coral Reefs 珊瑚礁の絶滅について考える
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009036	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は科学・技術、医療や生物に関して実際に起こった、また起こっている諸問題を多角的に読んでいく読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話文音声を読み、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標/Goal	1. リスニングで何が話題になっているのか大意を掴むことができる。 2. Exerciseの練習を通して、正しい文構造で英文を作ることが出来る。		
授業方法(学習指導法)/Method	座学で科学・技術、医療や生物に関する諸問題について知識をつける。そして、その得た知識の定着させるため、確認テストを毎回実施する。		
授業内容/Class outline/Con	全回、授業前半は科学・技術、医療や生物に関する諸問題について書かれた英文を基本文法の確認も含め読解していく。後半で、T/F問題、文法問題に加え、各トピックに関連したリスニング問題で理解の確認をしていく。第16回目に定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各ユニットの最後に英文解釈の補足情報が載っているので、予習で必ず目を通しておくこと。また、翌週に確認テストを行うのでしっかりと復習をしておくこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Radius (三修社) ¥1,700 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の取り組み(10%) + 確認テスト(13回 × 2点・(%) = 26点) + TOEIC IP (20%) + e-learning小テスト(20%) + 定期試験(24%) = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Elegant Demolition		
3回目	Elegant Demolition 確認テスト Ayato Takada and the Ebola Virus		
4回目	Ayato Takada and the Ebola Virus 確認テスト Japanese Rocket Science		
5回目	Japanese Rocket Science 確認テスト Drones		
6回目	Drones 確認テスト Whistleblower Engineer Fights Giant Monsters and Wins!		

7回目	e-learning 小テスト1回目 Whistleblower Engineer Fights Giant Monsters and Wins! 確認テスト AI
8回目	AI 確認テスト Mitsubishi Regional Jet
9回目	Mitsubishi Regional Jet 確認テスト Johannis de Rijke
10回目	Johannis de Rijke 確認テスト Child Proof Technology: A Disaster Waiting to Happen
11回目	Child Proof Technology: A Disaster Waiting to Happen 確認テスト A Breach of the Public Trust
12回目	A Breach of the Public Trust 確認テスト Scientific Accountability
13回目	e-learning 小テスト2回目 Scientific Accountability 確認テスト Living Fossils
14回目	Living Fossils 確認テスト Snow Brand
15回目	Snow Brand 確認テスト The Corporate Culture of Concealment
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009037	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:20 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のTOEIC-IP20%、e-Learning小テスト20%(3 Step、Power Words)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-learning小テスト(1回目)、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning小テスト(2回目)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a taxi、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009038	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007_hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	noribei07142007_hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007_hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	"Reading skill の向上に重点的に取り組む。語彙・文法事項・文章構成のレトリック等に留意しつつ、Reading strategyに沿って速読力のアップ、さらには内容を十分に理解する精読も行う。また、時事英語を学びながら、語彙力の養成及び社会事象への関心を高めることを促す。"		
授業到達目標/Goal	"(1) TOEIC 400 ~ 450のレベルの英文を難なく読みこなす。 (2) 正確な内容理解のために、これまでに学習した基本文法を適用できる。"		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークも含み進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	"(1) English newsの記事を読み取り、key sentencesを暗唱。 (2) 語彙力・表現力の養成。 (3) テキストの読解"		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指示された箇所の予習とquiz(小テスト)のための復習を確実にすること。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Advantage 3 (Third Edition)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	TOEIC-IP 20%, e-Learning小テスト(3step・PowerWords) 20%、課題・小テスト・授業参加度 10%、期末試験 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて、要件があれば記入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Course Outline (導入) : : 教材配布		
第2回	Unit 1 Reading the Passage		

第3回	Unit 1 Reading and Vocabulary Comprehension
第4回	Unit 2 Reading the Passage
第5回	Unit 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第6回	Unit 5 Reading the Passage
第7回	e-learning 小テスト1回目 Unit 5 Reading the Passage
第8回	Unit 5 Reading and Vocabulary Comprehension
第9回	Unit 6 Reading the Passage
第10回	Unit 6 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	Unit 8 Reading the Passage
第12回	Unit 8 Reading and Vocabulary Comprehension
第13回	e-learning 小テスト2回目 Unit 17 Reading the Passage
第14回	Unit 17 Reading the Passage
第15回	Unit 17 Reading and Vocabulary Comprehension / Review
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009039	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は宇宙、健康、動物、人間の精神などに科学を読み取る読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話文音声聴き、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標/Goal	1.リスニングで何が話題になっているのか大意を掴むことができる。2.writingの練習を通して、正しい文構造で英文を作ることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	座学で宇宙、健康、動物など幅広い分野に見る科学について知識をつける。そして、その得た知識の定着させるため、確認テストを毎回実施する。		
授業内容/Class outline/Con	初回のみ、座学によるテキスト解釈、2回目以降は定着確認問題とテキスト解釈をしていく。第1回目~第4回目が見る科学、第5回目~第8回目までが健康に見る科学、第9回目~第12回目までが動物に見る科学、第13回目~第15回目までが科学技術に見る科学について理解を深めていく。第16回目に定期試験を実施する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	理解度の確認テストを実施するのでしっかりと復習すること。また、予習も辞書等を用いてしっかりと行って授業に臨むこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Finder (成美堂) ¥1,900 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の取り組み (10%) + ミニテスト (13回 × 2点・%) = 26% + TOEIC IP (20%) + e-learning小テスト (20%) + 定期試験 (24%) = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Digital Amnesia		
3回目	Digital Amnesia ミニテスト Sleep Paralysis		
4回目	Sleep Paralysis ミニテスト Why Are Some People Better at Learning Languages?		
5回目	Why Are Some People Better at Learning Languages? ミニテスト The McCollough Effect		
6回目	The McCollough Effect ミニテスト The Healthiest Drink?		

7回目	e-learning 小テスト1回目 The Healthiest Drink? ミニテスト Health Advice for Fashion Lovers
8回目	Health Advice for Fashion Lovers ミニテスト Live to Be 120
9回目	Live to Be 120 ミニテスト A New Antibiotic Found in the Soil
10回目	A New Antibiotic Found in the Soil ミニテスト The World's Oldest Creature?
11回目	The World's Oldest Creature? ミニテスト Lazy Ants
12回目	Lazy Ants ミニテスト (Almost) Vegetarian Bears
13回目	e-learning 小テスト2回目 (Almost) Vegetarian Bears ミニテスト Animals and Earthquakes
14回目	Animals and Earthquakes ミニテスト LiquiGlide
15回目	LiquiGlide ミニテスト Unbreakable Glass
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009040	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。パートナー(グループ)で疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題点・感想を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。英語を読み、聞き、声に出し、書き、それぞれの能力を総合的に伸ばす訓練をする。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回オリエンテーション。第2回~6回文の種類・品詞を再確認しながら内容を理解し、聞き取りづらい音(音の変化、数字など)を意識してリスニングをします。第7回~10回キーワードに着目して内容を理解し、挨拶・勧誘文・依頼文を聞き取って答える練習をします。第11回~13回テーマを意識して読み、内容を理解して音声をまねる練習をします。第14回目文化・健康・就職活動など授業で取り上げたテーマの中からペアで選んだ内容について、会話発表してもらいます。第15回まとめ。第16回定期試験。6回目と12回目にe-learning小テストを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森田彰, 飯尾牧子, 橋本健広, 佐竹幸信, 角田麻里, Taron Plaza 『総合英語のターゲット演習【中級】』(金星堂, 2017年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning20%、TOEIC-IP20%(60点以上合格)		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		